

## DSO参加機関の活動紹介

## ■ 千葉大学：仕事と介護の両立ができる職場づくりを考える 「組織で取り組む介護支援の方法と実践」■

- 【日時】平成31年3月7日(木)13時00分～15時00分  
 【講師】社会保険労務士法人グラス代表・  
 特定社会保険労務士 新田 香織  
 【場所】千葉大学 西千葉キャンパス  
 附属図書館アカデミック・リンク・センター1Fひかり  
 【申込方法】参加費無料・要事前申込  
 【関連情報】[http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/info/chiba\\_conso\\_h310307.html](http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/info/chiba_conso_h310307.html)  
 【問合先】千葉大学 運営基盤機構 男女共同参画推進部門  
 E-mail [diversity-office@chiba-u.jp](mailto:diversity-office@chiba-u.jp)  
 【対象】DSO参加機関以外も対象(どなたでもご参加頂けます。)

第5回 ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアム連絡会  
 仕事と介護の両立ができる職場づくりを考える

2019年3月7日(木)13:00～15:00

会場：千葉大学 西千葉キャンパス アカデミック・リンク・センター1Fひかり

対象者：教育研究機関関係者、企業関係者、その他本テーマに興味・  
 関心のある方(コンソーシアム参加機関以外の参加も歓迎)

ミニレクチャー：組織で取り組む介護支援の方法と実践  
 講師：社会保険労務士法人グラス代表・特定社会保険労務士 新田 香織

組織として、働く人の仕事と介護の両立をどのように実現する  
 かは、大きな課題の一つです。今回は「仕事と介護両立ハン  
 ドブック」の著者で、様々な企業事例に精通した特定社会保  
 険労務士の新田香織様をお招きし、組織で取り組む介護  
 支援の方法と実践についてミニレクチャーを頂きます。  
 当日はミニレクチャーの後、参加者同士の意見交換の時間を  
 設け、参加機関の介護支援に関する取組や実践上の悩み  
 等について、情報を共有し、仕事と介護の両立ができる職場  
 づくりについて、共に考える機会にしたいと思っております。ぜひ皆様  
 お誘いあわせの上、ご参加ください。



ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアムとは  
 千葉大学、東邦大学、放射線医学総合研究所により、各機関のダイバーシティ  
 を推進し、学術的発展と社会貢献を目的に平成27年度に設立。他機関の  
 事例やダイバーシティ推進に役立つ情報を学びながら、参加機関同士の交流を  
 深める機会として、連絡会を開催しています。参加機関随時募集中です。

【参加申し込み・問い合わせ先】千葉大学運営基盤機構 男女共同参画推進部門  
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33  
 TEL&FAX 043-290-2020 E-mail [diversity-office@chiba-u.jp](mailto:diversity-office@chiba-u.jp)

## ■ 千葉大学：JSTマッチングプランナーによる 「産学共同研究促進セミナー&相談会」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型) 文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
 千葉大学・東邦大学・量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所では、女性研究者の共同研究推進を支援しています

### JST マatchingプランナーによる 産学共同研究促進セミナー&相談会

企業との共同研究のきっかけづくりや、公募型の研究開発費支援の制度の活用方法等、  
 産学共同研究への展開についてご紹介頂きます。産学共同研究に取り組んだことのない  
 方はもちろん、産学共同の研究をさらに発展させたい方にも役立つ情報をご紹介します！

2019年3月7日(木)15:15～17:00

会場：千葉大学 西千葉キャンパス アカデミック・リンク・センター1Fまなび

対象者：千葉大学・東邦大学・量子科学技術研究開発機構に在籍する研究者  
 (その他の機関に在籍する研究者もご参加頂けます)

15:15～16:00 セミナー

「研究者と企業—お互いが通じ合うには(仮)」

講師：国立研究開発法人 科学技術振興機構  
 産学連携展開部 地域イノベーショングループ 東京オフィス  
 マatchingプランナー 高山 大 氏

16:00～17:00 個別質疑応答・相談会

Matchingプランナーが個別に質問・相談に応じます。

企業との共同研究はリスク  
 があつそうで心配・・・  
 自分の研究に興味を持って  
 くれる企業はある？



JST マatchingプランナーとは？  
 企業が直面する技術的課題(企業ニ  
 ーズ)を把握し、大学等の研究成果(大学  
 シーズ)と結びつける専門人材です。

お申し込み  
 お問合せ  
 ご所属・お名前・連絡先メールアドレス、個別相談希望の有無をお知らせください。  
 千葉大学 運営基盤機構 男女共同参画推進部門  
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 TEL&FAX 043-290-2020  
 E-mail [diversity-office@chiba-u.jp](mailto:diversity-office@chiba-u.jp)

企業との共同研究のきっかけづくりや、公募型の研究  
 開発費支援の制度の活用方法等、産学共同研究への  
 展開についてご紹介頂きます。産学共同研究に取り組  
 んだことのない方はもちろん、産学共同の研究をさらに  
 発展させたい方にも役立つ情報をご紹介します！

【日時】平成31年3月7日(木)15時15分～17時00分

【場所】千葉大学 西千葉キャンパス 附属図書館  
 アカデミック・リンク・センター1Fまなび

【申込方法】参加費無料・要事前申込

【関連情報】<http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity/receive/joint-research.html#h2-2>

【問合先】千葉大学 運営基盤機構 男女共同参画推進部門  
 E-mail [diversity-office@chiba-u.jp](mailto:diversity-office@chiba-u.jp)

【対象】DSO参加機関以外も対象  
 (どなたでもご参加頂けます。)



## DSO参加機関の活動紹介

## ■ 神戸大学：ダイバーシティフォーラムキックオフシンポジウム ■

- 【日時】平成31年3月27日(水)13時00分～15時00分  
 【場所】ANAクラウンプラザホテル神戸(新神戸駅直結)  
 【申込方法】予約不要・参加無料  
 【問合せ先】神戸大学 男女共同参画推進室  
 gnrl-kyodo-sankaku@office.kobe-u.ac.jp  
 【関連情報】<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>  
 【対象】DSO参加機関以外も対象

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」

神戸大学  
ダイバーシティフォーラム  
キックオフシンポジウム  
Kobe University Diversity Program Kick-Off Symposium

日時 2019. 3/27 水曜日 13:00-15:00 会場 ANAクラウンプラザホテル神戸(新神戸駅直結) 9階・ジャズミン

プログラム 同時進行あり  
 開会挨拶：武田 廣 氏 (神戸大学)  
 実務挨拶：橋目 聖 氏 (文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 参事官)  
 事業説明：内田 一徳 氏 (神戸大学 男女共同参画推進室 参事官)

【講演1】  
「Diversity and Inclusion: when do they really work?」  
Saniye Güler Corat 氏 (マスコ 異文化共同参画推進員)

【講演2】  
「日本の男女共同参画の現状と課題 大学の取組への期待」  
板東 久美子 氏 (日本司法支庁センター 理事長 元内閣府男女共同参画局長)

【講演3】  
「双日グループのダイバーシティと女性活躍推進」  
宮野 寛子 氏 (双日株式会社 人事総務部 グローバル・ダイバーシティ推進課  
ダイバーシティ推進チーム チームリーダー)

閉会挨拶

問い合わせ先  
国立大学法人 神戸大学 男女共同参画推進室  
E-Mail : gnrl-kyodo-sankaku@office.kobe-u.ac.jp / TEL: 078-803-5471

予約不要  
参加無料

## DSO事務局の活動報告

## □ 筑波大学のセミナーに参加しました □

2月20日に行われた、筑波大学主催の熊谷 晋一郎氏(東京大学先端科学技術研究センター 准教授)によるセミナー第15回 全学FD/ダイバーシティセミナーⅣ「知識と支援の共同創造」に参加しました。

内容は、障がいの有り無しから考える、一緒に働き研究するときには困難を感じている方々へのアプローチの仕方についてでした。たとえば、共同創造とはどういうものか、障がいの社会モデルや見えにくい障がいについて、組織と個人の成長を止めない研究文化の重要性などについてお話がありました。共同創造では、サービスの提供者側(専門家など)と利用者側(当事者など)が、はじめから一緒にそれを作ることで、より高い成果を得られることを理解しました。また、組織と個人の成長を止めない研究文化に関して、想定外の失敗に対して個人を責めずに組織の問題として対応することが大事であることを学びました。

講演の中で特に印象に残ったことは障害のモデルについてです。心身的困難への一方的な考え方である「医学モデル」のほかに、社会環境、心身的な困難の双方に目を向ける「社会モデル」を認識しました。今回、生活上で問題を抱えている方々への心身的な配慮だけでなく、社会環境の配慮にも目を向けることが大切であると感じました。

これからは、生活上で困っている方々にもっと寄り添うことができると思います。

## ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、つくばを中心に全国の研究教育機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進してまいりました。現在は、参加機関相互のイベント機会提供や、年2回の担当者による情報・意見交換会を行っています。DSOへのご参加も歓迎しております。

## 【DSOメンバー:20機関】

産業技術総合研究所、森林研究・整備機構 森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所(加入順)